

令和2年7月豪雨の対応 I

- 全国の整備局から **災害対策用機械 35台** が 中継基地である九州技術事務所に集結し **球磨川・筑後川流域** や **大牟田市** の被災地に出動しました。
- 活動拠点の九州技術事務所から全国のTEC-FORCE※が 災害対策用機械 を指揮

※ TEC-FORCEとは 緊急災害対策派遣隊。大規模災害発生時に被災自治体等の支援を目的に派遣される部隊



令和2年7月豪雨の対応 II

- 球磨川流域で7月3日から猛烈に降り続けた雨により **観測史上最高水位** を観測
- 球磨川の氾濫などで浸水被害が発生し **九州技術事務所からも排水ポンプ車 3台を出動させ緊急排水を実施**



▲ 人吉市街地は、広い範囲で浸水



▲ 緊急排水作業にあたる排水ポンプ車（人吉市九日町）



▲ 排水作業のためホースを設置する協力企業（球磨村渡）



▲ 緊急排水作業にあたる排水ポンプ車（球磨村渡）

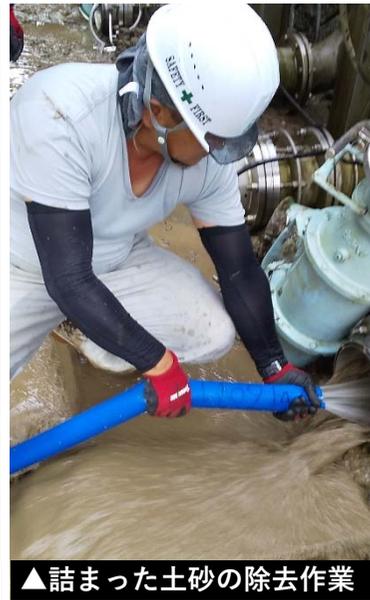
令和2年7月豪雨の対応 Ⅲ

○「地域の守り手」である建設業の多くの方に 1日も早い被災地の復旧に向け 最前線で活動して頂きました。

以下の写真は、九州技術事務所 災害協定に基づく協力業者の皆さんの 人吉市及び球磨村での 応急作業状況です。



▲排水機場の土砂撤去作業（人吉市九日町）



▲詰まった土砂の除去作業



▲排水ポンプを設置し、水位を監視



▲排水ポンプの土砂撤去作業（球磨村渡）



▲照明車の設置



▲被災した排水樋管の代替として ポンプ車を設置